

科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会(第2回)議事要旨

【日時】 平成21年4月20日(月)14:00～16:00

【場所】 日本学術会議5-C(1)会議室

【出席者】 岩澤委員長、山本副委員長、海部幹事、長野幹事、鈴木委員、
山岸委員、平委員、永宮委員
事務局：渡辺参事官 他

【議題】

- 1) 前回議事要旨(案)の確認
- 2) 海外の事例について
- 3) 学術の大型研究計画に関する調査について
- 4) 今後の進め方について
- 5) その他

【資料】

資料1 前回議事要旨(案)

資料2-1 ESFRI Report 2006

2-2 ESFRI Roadmap(山岸委員説明資料)

2-3 長野幹事説明資料

資料3 英国の研究カウンスルと大型計画

資料4 学術の大型研究計画に関する調査結果

資料5-1 大型計画調査結果の分類についての考え方

5-2 カテゴリー・分類別 プロジェクトリスト

5-3 記載順 プロジェクトリスト

資料6 今後の進め方について(案)

参考1 委員名簿

参考2 学術の大型研究計画の検討について(論点整理たたき台)

参考3 学術の大型研究計画に関する調査

第1回:大型研究施設(装置、設備等を含む)計画について

参考4 学術研究設備の現状(イメージ)

議 事

1) 前回議事要旨

前回の議事要旨(案)について諮られ、了承された。

2) 海外における大型計画の取り扱い事例について

科学の大型研究計画について、ヨーロッパ及び英国における事例を検討した。
まず岩澤委員長、山岸委員、長野幹事より、資料2-1、2-2にもとづき ESFRI について説明された。
次に永宮委員より、資料3にもとづき、英国のリサーチカウンシルと大型計画について説明された。
ESFRI 及び英国のリサーチカウンシルの組織、Report の意図等について質疑応答があった。

3) 学術の大型研究計画に関する調査について

議題3) 及び4) について非公開審議とすることが委員長より提案され、了承された。
学術の大型研究に関する調査結果(第1回)について、海部幹事より資料4、5-1～5-3にもとづいて説明された。
意見交換の結果、資料5-1～5-3をもとに調査結果を整理し、ヒアリング課題等を検討することとなった。

4) 今後の進め方について

今後の進め方について、岩澤委員長より資料6にもとづいて説明がされ、意見交換の結果、以下の通りとされた。

- ◆ 次回分科会において、総合科学技術会議事務局より、「大規模研究施設に関する諸外国の動向調査」の報告を受け、議論を行う。
- ◆ 次回分科会より、第一回調査結果のヒアリングに入る。ただしこのヒアリングは今後の大型計画対応の方策検討のため日本における大型計画の状況を把握することが主な目的であって、順位をつけるためのものではないことを説明者にも周知する。
- ◆ 人文・社会科学分野を含め、いわゆる大型施設ではないが長期・大規模に研究者を組織するなどの大型研究を中心とした第2回大型研究計画調査については、山本副委員長、長野幹事、山岸委員に、メール等による意見交換により、4月27日メドにて調査依頼・調査票の第一次案をご作成いただき、役員及び事務局にお送りいただく。
- ◆ 上記第一次案について、次回分科会にて検討する。

5) その他

次回(第3回)は5月28日(木) 10:00～12:00の開催とした。また、第4回以降はヒアリング時間等を考慮し、会議時間を1時間延長して3時間とすることとした。

(以上)